

# かなね



校訓：明るく 強く 正しく

長久手市立長久手小学校 教頭 高村 渉

学校教育目標：夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子

## 9月は防災月間です

9月15日（金）の3限に、「職員室から火災が発生し、校内で児童が行方不明になる」という設定で、全校での避難訓練を実施しました。行方不明児童については、学年や名前など、訓練直前まで先生方にも知らされておらず、緊張感のある訓練を実施することができました。熱中症対策のため、訓練後の講話は教室での放送となりました。



毎年9月1日は防災の日、そして、1923年9月1日に関東大震災が起こったこと、台風など風水災害が多い時期でもあることから、「災害に備えつつ知識を深めるため」として、9月は防災月間とされています。

今からちょうど100年前に起きた関東大震災。死者・行方不明者は10万500人にものぼりました。その9割が火災によるもので、木造住宅が密集する地域で巨大な炎が渦を巻く「火災旋風」が発生し、甚大な被害を及ぼしました。多くの人々が、家財道具を満載にして避難したことで道をふさいでしまったり、情報不足のため同時多発的に起きた火災が、自分たちの避難場所までこないだろうと思い込んだりしたことが、避難行動が遅れた要因の一つとされています。過去に起きた災害を教訓に、同じような悲劇を繰り返さないよう児童達には伝えていきたいです。

## ベルマーク運動がめざすもの

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という願い

ベルマーク運動が始まったのは1960年。現在も各校のPTAを中心として行われています。ベルマーク運動には、2つの機能があります。「協賛会社」が商品に付けているマークをPTAなどが集め、整理・計算して財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク預金になります。その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。その購入金額の10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、へき地の学校や特別支援学校、災害で被災した学校への支援、アジアの子どもたちを助けるNPOへの支援など、さまざまな教育援助活動に使われます。自分たちの学校のためにベルマークを集めることが自動的に、厳しい教育環境にある子どもたちの役にも立つ仕組みなのです。（※ベルマーク教育助成財団HP参照）長久手小学校では、PTA福祉厚生部ベルマーク担当の皆さんが、毎年ベルマークの集計、仕分けなどの作業を行っています。今年度のベルマーク（インクカートリッジ）回収日は、9月25日（月）、26日（火）の2日間です。助け合いの気持ちがつながって困っている人たちに届く、誰にでもできる身近なボランティアです。ご協力をよろしくお願いします。

